

## V. MRCP検査 説明書

■MRCP検査は、主に胆嚢・膵臓を撮像する検査です。

検査直前に液体の造影剤を服用していただきます。造影剤を使用することにより、病気の状態がより正確に把握することができます。造影剤は服用後48時間で、ほぼすべてが糞中に排泄されます。

■造影剤を服用すると、まれに副作用を起こすことがあります。

服用における副作用の種類は以下の通りです。

種類/頻度	5%以上	0.1~5%未満	頻度不明
過敏症			発疹・蕁麻疹
消化器	軟便	下痢、腹痛、腹鳴、悪心、腹部膨満、胸焼け	
精神神経系		眠気、頭痛	
その他		尿蛋白陽性、尿糖陽性	血清鉄低下、血清フィリチン減少

ほとんどの症状は軽度で一時的なものが多く、自然に軽快するのが通常ですが、ごくまれに重篤な副作用が出る可能性があります。

■検査前の絶食についてのお願いです。

検査4時間前より、お食事はお控え下さい。

(脱水防止のため、少量のお水・お茶は可。それ以外の飲料は不可)

■次の場合は造影剤を使用できません。

- ・過去にMRCP造影剤を使用、服用し、アレルギー症状が出たことがある方
- ・消化管穿孔やその疑いがある方